

令和7年度 管理運営業務点検報告書

対 象 施 設	横浜市老人福祉センター鶴寿荘
対 象 期 間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
指 定 管 理 者	特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会
実 施 日	令和8年5月18日(月)
点 検 方 法	業務点検実施マニュアルに沿い、指定管理者からの報告書類の内容審査、ヒアリング、施設の立ち入り調査により実施した。
講 評	協定書及び計画書に基づいた管理運営は適切に行われている。 自主事業については、60歳以上の利用者を対象に、健康増進・介護予防・教養分野の多様な事業が実施されている。特に「ひざひざワックン体操」や「呼吸健康体操」などの健康関連事業は継続的に実施され、多くの参加を得ており、高齢者の健康維持に寄与している。また、「スマホ講座」や「英会話で脳活」など、現代のニーズを踏まえた事業展開も図られている。 さらに、「シルバーフェスティバル」やコンサート事業、地域団体との連携講座を実施し、高齢者の交流及び地域コミュニティの活性化に寄与している点が評価できる。 今後も、高齢者の生きがいづくり及び介護予防に資する事業を継続するとともに、地域活動の拠点としての役割を果たし、利用者に寄り添った運営を行うことを期待するものである。
指 摘 事 項	特になし
改 善 状 況	特になし
添 付 資 料	業務点検結果シート(別紙)

業務点検結果シート(令和7年度総括)

施設名 横浜市老人福祉センター鶴寿荘

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、見込額達成状況	制度外施設
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住 区別利用数、その他利用数	利用者数は前年度と比較し、増加傾向
	会議室等稼働率	部屋別の稼働率	制度外施設
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率	予算書に基づき適正に執行されている。
		ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	制度外施設
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経 費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書 の自主事業計画との整合性	ひざひざワックン体操「呼吸健康体操」等の健康事業の ほか、スマホ講座や文化講座等を実施し、高齢者の健康 維持及び交流促進に寄与している。
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	業務に支障のない勤務実績であった。
	施設の管理状況	点検日時、点検状況 事業計画書とおりの適切な管理の実施(第三 者への委託状況等)	適切に管理が実施されている。
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	適宜実施されている。
	備品	備品(I種)の購入・廃棄状況	適宜実施されている。
	広聴、ニーズ把握	広聴(窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市 コールセンターへの意見・要望等)や利用者 ニーズの把握状況と対応、掲示の有無等	利用者からのご意見・ご要望に対し、適宜対応がとられて いる。
	巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	適切に運営されている。
年1回	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等	窓口で利用方法を掲示する等、利用者へ周知されてい る。
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況(研 修の実施、誓約書の提出等)	全職員が研修を受講するとともに、ミーティング等の時間 を活用して、周知徹底や注意喚起を行っている。
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	作成・提出されている。
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	作成・提出されている。
		消防計画の作成・提出状況	作成・提出されている。
	保険	施設賠償責任保険への加入	加入している。
	研修	職員等に対する研修の実施状況	施設運営に必要な研修を実施している。
随時	本市重要施策への 実現に向けての取組	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取 組、市内中小企業への優先発注等の取組状 況等	市役所のごみゼロルート回収に参加してゴミの分別回収 を行っている。施設修繕等、業者委託する時は市内・区 内中小企業に優先的に発注している。
	地区センター委員会	日時、場所、出席者、議題、意見等	7月に開催。前年度の利用状況報告及び今年度の自主 事業計画等が議題。
	利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	5月及び8月に開催。各報告及び利用者との様々な意見 交換を行う。
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	特になし
	損害賠償	損害賠償の発生状況	特になし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	特になし
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	特になし
	喫緊の対応が必要 又は特に重要な意 見、要望	すぐに対応が必要な施設に対する意見、要望	特になし
	特に重要な施設の 維持管理、修繕に関 すること	利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管 理、修繕に関する状況	特になし
特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	■ 健康体操や介護予防事業を継続的に実施し、多くの参加を得て いる点は評価できる。 ■ スマートフォン講座や文化講座等の実施により、高齢者の学習機 会及び交流機会の創出が図られている。 ■ 省エネ対策や施設管理に取り組み、安全で快適な利用環境の維 持が図られている。		特になし